

令和8年 春季火災予防運動実施要綱

湖北地域消防本部

1 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生及び財産の損失を防ぐことを目的とする。

2 防火標語(2025年度 全国統一防火標語)

『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

3 実施期間

令和8年3月1日(日)から3月7日(土)までの7日間

4 重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 地震火災対策の推進
- (3) 林野火災予防対策の推進
- (4) 防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (5) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (6) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- (7) 乾燥時及び強風時の火災に対する警戒の強化
- (8) 放火火災防止対策の推進



《消防本部・消防署の主な実施事項》

- 住宅防火対策の推進
- 消防車両による巡回防火広報
- JR 各駅等での防火広報
- 防火立看板、のぼり旗の掲出
- 防火対象物の立入検査

《事業所での推進事項》

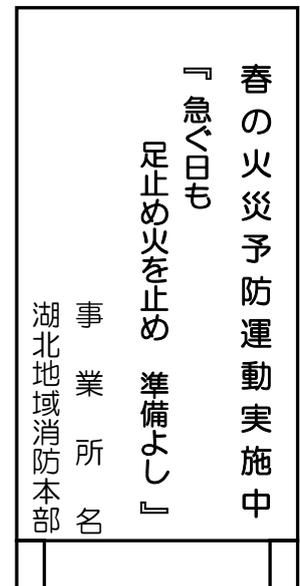
- 立看板(右図)及び防火ポスターの掲出
- 放送設備・社内広報等を活用した防火意識の啓発

放送例文

ただいま、春の火災予防運動が行われています。この時季は空気が乾燥し火災が起こりやすくなっています。火の取り扱いには十分注意して下さい。

- 防火管理体制の充実
- 避難施設等及び消防用設備等の維持管理の徹底
- 防災物品の使用の徹底及び防災製品の使用の推進
- 放火火災防止対策の徹底
- 防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 消火訓練及び避難訓練の実施

〈立看板の例〉



《家庭や地域での推進事項》

住宅防火 いのちを守る 10のポイント — 4つの習慣・6つの対策 —

4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは防災品を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

地震火災を防ぐ12のポイント

事前の対策

1. 住まいの耐震性を確保する。
2. 家具等の転倒防止対策(固定)を行う。
3. 感震ブレーカーを設置する。
4. ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない。
5. 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認する。
6. 住宅用火災警報器を設置し、適切な維持管理を行う。

地震直後の行動

7. 停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。避難するときはブレーカーを落とす。
8. 石油ストーブやファンヒーターからの油漏れの有無を確認する。

地震からしばらくして(電気やガスの復旧、避難からもどったら)

9. ガス機器、電化製品及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認する。
10. 再通电後は、しばらく電化製品に異常(煙、におい)がないか注意を払う。

日頃からの対策

11. 消防団や自主防災組織等へ参加する。
12. 地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図る。

期間中は併せて次の運動も実施します。

○山火事予防運動

この運動は、広く住民に山火事予防意識の啓発を図るとともに、予防対策を強化し、森林の保全と地域の安全に資することを目的として実施します。

○車両火災予防運動

この運動は車両交通の関係者および利用者の火災予防思想の高揚を図り、もって車両等の火災を防止し、安全な輸送を確保することを目的として実施します。

